

IV 各学部の教育課程

1 幼稚部

(1) 幼稚部の教育目標

- ① 明るく元気な子
(健康な体と安全に生活する態度を育てる。)
(情緒の安定を図り、豊かな心を育てる。)
- ② 自分でできることは自分でする子
(身のまわりのことを自分でしようとする態度を育てる。)
- ③ 一人でもみんなとも遊べる子
(一人でも友達とも遊べる力を育てる。)

(2) 教育課程の編成方針

- ① 幼稚部教育要領及び本校教育課程編成の基本方針を踏まえ、幼児期の生活や発達の特性及び、障害の状態や特性、発達段階等を十分に把握し、興味・関心に考慮して、社会に開かれた教育課程を編成する。
- ② 小学部と円滑な接続を図り、連携を密にして、系統性のある教育課程の編成に努める。
- ③ 長期的な視野に立ち、本人や保護者の願いを反映させ、一人一人のニーズに応じた「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」を作成し、指導の充実を図る。
- ④ 健康、人間関係、環境、言葉、表現及び自立活動の6領域を、相互に関連を持たせながら「遊び」「生活に必要な活動」「自立活動」を通して指導し、6領域のねらいが総合的に達成できるように努める。
- ⑤ 育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえ、教育活動の向上を図り（カリキュラム・マネジメントの充実）、評価と改善につなげる。
- ⑥ キャリア教育の視点を持ち、幼児やその保護者が将来の夢や希望をはぐくめるように人や物との関わりを豊かにできるような教育課程を編成する。
- ⑦ 幼児の興味・関心に応じて、幼児自ら進んで働きかけることのできる環境を工夫し、遊びを通して、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）ができるように編成する。
- ⑧ 幼児の実態を踏まえ、「基本的生活習慣の確立・集団参加・健康な生活リズム」の基礎作りであることを重視し、保護者が保育参加をするなど、家庭と連携しながら個に応じた指導の充実を図る。

(3) 各領域の指導の重点

- ① 健康
 - ア 明るくのびのびと活動できるようにする。
 - イ いろいろな遊びの中で、十分に体を動かせるようにする。
 - ウ 健康な生活リズムを身につけ、生活に必要な活動を自分でしようとする態度を身につけていけるようにする。
 - エ 安全な生活に必要な習慣や態度を身につけていけるようにする。

② 人間関係

- ア 幼稚部の生活を楽しみ、身近な人と共に過ごすことの喜びを味わわせ、一緒に遊ぶことができるようにする。
- イ 身近な人との関わりの中で、きまりの大切さに気づくことができるようにする。
- ウ いろいろな遊びを楽しみながら先生や友達と一緒に活動を最後までやり遂げようとする気持ちをもてるようにする。

③ 環境

- ア 校内外の身近な自然に触れることで、環境に対する興味・関心を育てることができるようにする。
- イ 草花を育てる活動を通して、身近な自然に親しむことができるようにする。
- ウ 身近な環境に自分から関わろうとする意欲を育てながら、好ましい関わり方に気付かせることができるようにする。
- エ 生活や遊びの中で、身のまわりのものの色や形、量、数、文字等に興味・関心をもつことができるようにする。

④ 言葉

- ア 絵本などを見たり、読み聞かせ等に親しむことができるようにする。
- イ 先生や友達の話に興味・関心を持ち、日常生活に必要な言葉が理解できるようにする。
- ウ 言葉のやりとりを楽しみ、自分なりの表現で日常生活に必要な簡単なあいさつや簡単な返事ができるようにする。
- エ 表現する楽しさを味わい、思ったことや感じたことを自分なりに伝えることができるようにする。

⑤ 表現

- ア 生活の中での様々な音・色・形・手触り・動きなどに気づいたり、楽しんだりできるようにする。
- イ いろいろな素材に親しみ、描いたり作ったり、思いのままに表現することができるようにする。
- ウ 音楽に親しみ、聞いたり歌ったり、のびのびと体を動かしたり、簡単なリズムなど楽器を使って楽しむことができるようにする。

⑥ 自立活動

- ア 基本的な生活習慣を身につけることができるようにする。(健康の保持)
- イ 情緒の安定を図り、集団活動に慣れることができるようにする。(心理的な安定)
- ウ 身近な人との関わりをもち、周囲の人とのやりとりを広げることができるようにする。(人間関係の形成)
- エ いろいろな体験を通して、周囲の状況に慣れることができるようにする。(環境の把握)
- オ 喜んで身体を動かすとともに、日常生活の基本動作を身につけることができるようにする。(身体の動き)
- カ 言葉に関して興味・関心をもち、表情や身振りなどの様々な方法を用いて、お互いの意思を伝え合うことができるようにする。(コミュニケーション)

(4) 交流及び共同学習の重点

- ① 幼児の居住地区や近隣の幼稚園、保育所等との交流の機会を積極的に設け、交流を深め、遊びを通して社会性や豊かな人間性を育むようにする。

(5) 安全に関する指導の重点

- ① 健康を保ち、より健康な体作りを目指すことができるようにする。
- ② 交通安全指導や避難訓練に参加し、道路の正しい歩き方やその場に応じた行動がとれるようにする。
- ③ 情緒の安定を図り、安全な行動がとれるように自己統制力を育てるようにする。
- ④ 危険な場所を知り、安全な行動をとることができるようにする。
- ⑤ 遊具や用具を正しく使うことができるようにする。

(6) キャリア教育の重点

- ① 家庭や地域社会と連携し、健康な生活リズムを整えることができるようにする。
- ② 身近な人に親しみ、愛情や信頼感をもてるようにする。
- ③ 様々な遊びを通して、自ら活動しようとする意欲をもてるよう環境を工夫する。

(7) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

心と体を十分に働かせ、地域の資源などを計画的に活用し、遊びや生活といった直接的・具体的な活動を通して、豊かな生活体験を得られるよう工夫する。

(6) 教育日数、教育時数及び教育週数の配当

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
教育日数	14	19	20	14	0	19	21	18	18	19	18	12	192日
教育時数	49	72	80	56	0	76	85	71	73	75	72	46	760時間
教育週数	41週												

(7) 年間行事計画

学期	月 日	行 事 名	備 考
一学期	4月9日 (火)	入学式	全体
	4月19日 (金)	身体測定	幼・小学部
	4月25日 (木)	耳鼻科検診	全体
	5月24日 (金)	歯科検診	幼・小・中学部
	6月12日 (水)	内科検診	幼・小・中学部
	6月28日 (金)	総合避難訓練① (不審者)	全体
	7月19日 (金)	1学期終業式	全体
二学期	9月 2日 (月)	2学期始業式	全体
	10月 6日 (日)	第34回運動会	全体
	10月30日 (水)	遠足	幼・小学部
	11月18日 (月)	総合避難訓練② (地震・津波)	全体
	12月25日 (水)	2学期終業式	全体
三学期	1月 6日 (月)	3学期始業式	全体
	1月25日 (土)	生産物まつり	全体
	2月18日 (火)	総合避難訓練③ (火災)	全体
	3月13日 (金)	高等部卒業式	全体
	3月17日 (火)	幼稚部修了式	幼稚部